

## 日本スポーツマスターズ2003で兵庫県(40才以上)選抜が無失点で全国制覇!

9月20日(土)～9月23日(火)にシニア年代の全国総合大会「第3回日本スポーツマスターズ2003」が和歌山県下で開催され、サッカー競技には、兵庫県選抜をはじめ全国各地域予選を勝ち抜いた強豪16チームが出場しました。

県下各地から選抜された兵庫県選抜は、安定した試合運びで他チームを圧倒し、全5試合を完封(無失点)して、見事“完全優勝”を果たしました。

試合結果、兵庫県シニア(40才以上)選抜メンバーは次のとおり

### [試合結果(関係分)]

予選リーグ 9月20日(土) 兵庫県 4 - 0 長野県(北信越代表)

9月21日(日) 兵庫県 6 - 0 徳島県(四国代表)

9月22日(月) 兵庫県 1 - 0 岐阜県(東海代表)

- 3戦全勝で予選リーグ1位 準決勝進出 -

準決勝 9月23日(火) 兵庫県 3 - 0 岡山県(中国代表)

決勝 9月23日(火) 兵庫県 3 - 0 福島県(東北代表)

優勝:兵庫県選抜

### [兵庫県シニア(40才以上)選抜メンバー]( )は所属協会名

GK 松岡 泰典(神戸) 沼田 和司(東播)

DF 松永 正利(神戸) 西田 正雄(神戸) 田中 康博(神戸) 松山 伸(淡路)  
杉浦 弘(尼崎) 前田 晋吾(姫路)

MF 前田 正司(神戸) 中村 栄二(神戸) 柳 富雄(神戸) 水野 修(東播)  
野澤 秀至(東播) 船木 茂浩(淡路)

FW 久保 正夫(神戸) 矢野 和哉(神戸) 金 在圭(神戸) 岡崎 有三(尼崎)  
朝倉 耕三(西宮) 花房(尼崎)

全国大会で優勝したシニア年代の兵庫県選抜チームには、神戸市シニアサッカーリーグに参加されている多くのメンバーが選抜されており、神戸市シニアリーグは全国トップクラスのレベルであることが実証されました。

# 第3回日本スポーツマスターズ2003和歌山大会全試合結果

## 予選リーグ結果

### Aグループ

		神奈川県	北海道	愛媛県	和歌山県	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失点	順位
A1	神奈川県		× 1-3	2-0	4-0	2	0	1	6	7	3	4	2
A2	北海道	3-1		0-0	2-0	2	1	0	7	5	1	4	1
A3	愛媛県	× 0-2	0-0		1-1	0	2	1	2	1	3	-2	3
A4	和歌山県	× 0-4	× 0-2	1-1		0	1	2	1	1	7	-6	4

### Bグループ

		石川県	福島県	京都府	宮崎県	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失点	順位
B1	石川県		× 0-1	× 0-2	× 1-2	0	0	3	0	1	5	-4	4
B2	福島県	1-0		1-0	4-0	3	0	0	9	6	0	6	1
B3	京都府	2-0	× 0-1		2-0	2	0	1	6	4	1	3	2
B4	宮崎県	2-1	× 0-4	× 0-2		1	0	2	3	2	7	-5	3

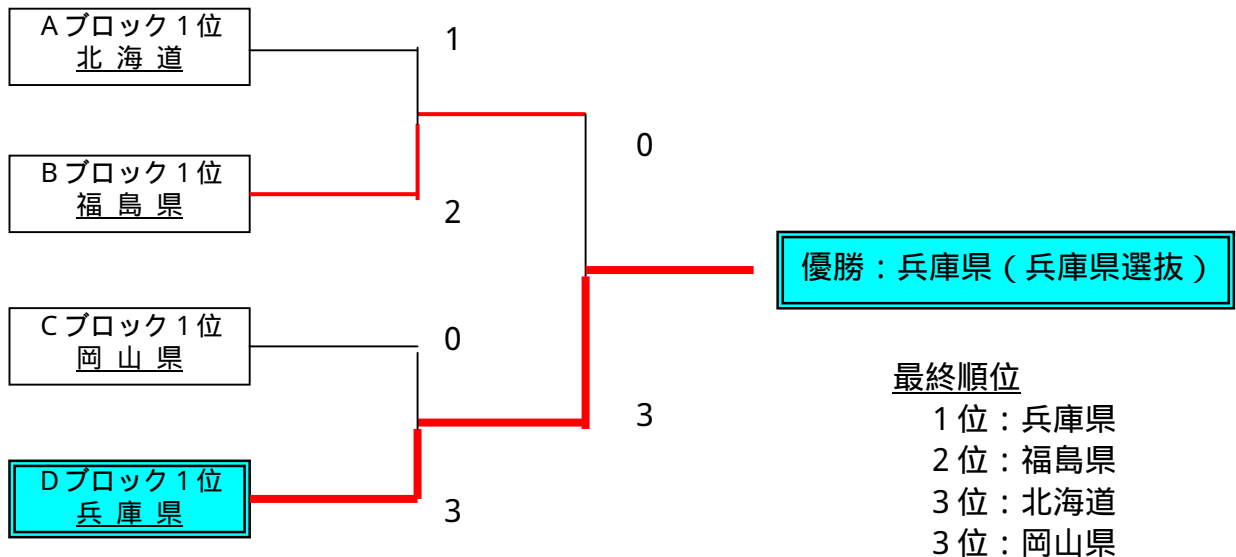
### Cグループ

		岡山県	茨城県	鹿児島県	青森県	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失点	順位
C1	岡山県		1-1	2-1	2-1	2	1	0	7	5	3	2	1
C2	茨城県	1-1		× 1-5	2-1	1	1	1	4	4	7	-3	3
C3	鹿児島県	× 1-2	5-1		1-0	2	0	1	6	7	3	4	2
C4	青森県	× 1-2	× 1-2	× 0-1		0	0	3	0	2	5	-3	4

### Dグループ

		徳島県	岐阜県	兵庫県	長野県	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失点	順位
D1	徳島県		× 1-2	× 0-6	2-1	1	0	2	3	3	9	-6	3
D2	岐阜県	2-1		× 0-1	2-0	2	0	1	6	4	2	2	2
D3	兵庫県	6-0	1-0		4-0	3	0	0	9	11	0	11	1
D4	長野県	× 1-2	× 0-2	× 0-4		0	0	3	0	1	8	-7	4

## 決勝トーナメント



## **[ 第3回日本スポーツマスターズ2003和歌山大会優勝までの軌跡 ]**

### 9月20日(土) Dグループ予選リーグ第1戦 兵庫県 4 - 0 長野県(北信越代表)

[前半]

全国大会の第1戦という緊張から、前半の立ち上がりは硬さがみられイージーミスが目立ったが、時間が経過するにつれて落ち着きを取り戻した。

前半5分に左サイドからのセンタリングがゴール前で混戦となり、FW岡崎(尼崎)がゴール中央に蹴り込み先制点をあげた。先制点を取ったことにより、チーム本来の早いパス交換でリズムをつかみ、前半8分には右サイドからの折り返しをMF前田(神戸)がゴール左に決め、2 - 0とリードを広げた。

その後、試合を8割がた支配しながら追加点を奪うことができなかった。

[後半]

後半には8人のメンバーを入替えたが安定したリズムを保ち、後半10分に左からのセンタリングをMF水野(東播)がダイレクトボレーシュートを決めて3 - 0とリードを広げた。その5分後には、右からのセンタリングを相手DFがクリアしたボールを再びMF水野がダイレクトシュートを決めて4 - 0で快勝し、予選リーグ初戦を白星で飾った。

### 9月21日(日) Dグループ予選リーグ第2戦 兵庫県 6 - 0 徳島県(四国代表)

[前半]

前日の予選リーグ第1戦を快勝したことで選手全員がリラックスしたいいムードで試合に臨んだ。試合開始から正確で早いパス回しですぐに主導権を取り、前半3分には右からのセンタリングをMF前田がヘディングシュートを決めた。早々の得点によってチーム全体がいいリズムで徳島県に攻撃のチャンスを与えず、前半8分には、FW岡崎が右から持ち込み、強烈なシュートをゴール左すみに決めて2 - 0とリードを広げた。

前半13分には、左からの早いクロスから徳島県DFのクリアミス进行いオウンゴールで3 - 0とした。その後、ほとんど徳島県エリア内でボールをキープし、前半22分には左からの早いセンタリングにFW朝倉(西宮)が合わせ、4 - 0で前半を終了。一方的な試合展開となった。

[後半]

前日の第1戦同様、後半には8人のメンバーを入替え、後半15分、ゴール前やや左でフリーキックを得、FW岡崎が芸術的なシュートを直接右すみに決め5 - 0。後半20分には、右からのコーナーキックをDF杉浦(尼崎)が高い打点のヘディングシュートを決めて6 - 0で快勝！予選リーグ2連勝！

兵庫県シニア選抜は選手層が厚くチーム戦術が浸透したレベルの高いサッカーで安定した試合運びができたことが大きい

### 9月22日(月) Dグループ予選リーグ最終戦 兵庫県 1 - 0 岐阜県(東海代表)

Dグループでは、兵庫県と岐阜県がともに2勝で並び、予選リーグ最終戦で決勝トーナメント進出をかけた一戦となったが、得失点差で兵庫県が7点上回り引き分けでもDグループ1位で決勝トーナメント進出が決定という、断然優位な状況での試合となった。

[前半]

引き分けでも良いという状況からか、立ち上がりは、選手に硬さが見られ、かつ慎重になり過ぎなのか、豊富な運動量と多彩な早いパスをリズムカルにつなぐ本来のサッカーが展開できず、リズムをつかみきれないまま時間が経過したが、徐々にペースをつかみ、早いプレスで相手にスペースを与えず、攻め込まれることもほとんどなく、7割がた相手エリアでボールをキープし、数回の決定的チャンスを作りだしたが決めることができず、前半は0 - 0となった。

[後半]

ハーフタイムでもっと積極的に守備と攻撃をすることを確認し、後半に臨んだ。

岐阜県は、兵庫県の攻撃力を恐れ、前半は守りぬき、後半に勝負を賭ける作戦であったが、兵庫県の動きの速さ、MFとDFの早いプレス、豊富な運動量と2タッチを意識した正確で早いパス回しに岐阜県はほんろうされ、兵庫県の一方的な試合展開となった。ダイレクトパスからフリーでシュートするなど決定的なチャンスを再三作り出したが、シュートがゴールキーパーの正面をついたり好守にも阻まれ、なかなか得点を挙げるができなかった。

しかし、後半10分過ぎにゴール正面からFW岡崎がシュートし、相手DFに当たってこぼれたところをMF中村(神戸)がゴール右すみに決め、待望の1点が入った。その後も一方的に攻め続け、再三のチャンスを迎えたが、シュートが決まらず、最小得点の1 - 0で勝利し、Dグループ1位で決勝トーナメントの準決勝進出を決めた。試合内容からみると、得点差以上の安定した試合展開であった。

### 9月23日(火) 決勝トーナメント 準決勝 兵庫県 3 - 0 岡山県(中国代表)

予選リーグ3試合中2試合に選手全員が出場したことにより、選手個々の疲労も蓄積されずに予選リーグを無失点で全勝し、目標の第1段階であった決勝トーナメント準決勝進出を果たせたことで、選手全員がリラックスした最高のコンディションで準決勝に臨んだ。

[前半]

9時30分、キックオフのホイッスルがスタジアムに響きわたった。

兵庫県は、立ち上がりから全員がのびのびとプレーし、豊富な運動量で前線からの早いプレスをかけて相手にプレーさせず、常に数的優位の状態を作り、終始相手エリア内でボールをキープした。前半5分、左からのセンタリングをFW岡崎がゴール左すみに強烈なシュートを決めて先制点を奪った。

その5分後(前半10分)には、またも左からのセンタリングをMF野澤(東播)がヘディングシュートをゴール右上すみに決め、2 - 0とリードを広げた。2点をリードしたことにより、落ち着いた試合運びで相手に攻め込む余地を与えない安定した試合となった

[後半]

後半には8人のメンバーを入替えたが、選手個々のレベルの高さとチーム戦術が浸透しており、いいリズムで試合を支配した。後半8分、左サイドでゴールから20m超の所でフリーキックを得、MF中村がシュートし、相手GKがキャッチングできずゴールインし、3 - 0とリードをさらに広げた。

その後も、終始相手エリアでボールをキープして危なげない安定した試合運びで圧勝し、初の決勝進出を決めた。

### 9月23日(火) 決勝 兵庫県 3 - 0 福島県(東北代表) 兵庫県選抜が初優勝！！

兵庫県、福島県とも初の決勝戦進出で、準決勝終了から2時間後のキックオフというハードスケジュールとなったが、兵庫県は、選手層が厚く、それまでの4試合の内3試合を後半には前半のメンバーから8人を入替えて戦ってきたこともあり、疲労の蓄積がほとんどない良いコンディションで決勝戦を迎えた。

一方、福島県の選手は、全試合僅差で勝ち抜いての決勝進出であり、かつ選手層の薄さから交替がうまくできなかったのか、各選手に疲労の色が伺えた。

[前半]

12時30分 決勝のキックオフのホイッスルが吹かれた。

兵庫県は、立ち上がりから良いポジショニングと豊富な運動量からの早いプレス、正確で早い2タッチパスをリズムカルにつなぐ兵庫県のサッカーに対し、福島県は攻める糸口もつかめず、ほとんど福島エリアでの試合展開となった。

前半10分までにダイレクトパスから再三決定的なチャンスを作り出したが、シュートがゴールキーパー正面をついて先制点に結びつかなかった。

しかし、前半13分、左からのセンタリングをFW岡崎が落ち着いて決めて、待望の先制点を取っ

た。

兵庫県は、その後も一方的に攻め続けたが、シュートに正確さを欠いて追加点をあげることができず、前半が終了した。

[後半]

ハーフタイムには“ここまで来たら優勝の2文字しかない！チーム一丸となって頑張ろう！！”と円陣を組み掛け声で気合を入れ直して後半戦に臨んだ。

後半は、ハーフタイムで気合を入れ直したこともあり、立ち上がりから軽快な動きで福島県をほんろうし、後半3分 ゴール前まで攻め込んだルーズボールをFW朝倉がゴール正面からシュートを決めて2-0とし、それまでの試合展開から見て、勝利を確信するゴールであった。

後半8分には、FW岡崎が左からのパスをゴール正面で受けシュートし追加点をあげて3-0とリードを広げ、勝利を確信する一撃となった。

後半10分から徐々にメンバーを8名入替えたが、厚い選手層でチームのリズムを保ち、福島県に付け入るスキを与えず、終了＝優勝決定のホイッスルがスタジアムに心地よく響いた。

[全体を通して]

昨年の準決勝Vゴール負けの悔しさをバネに、各都市協会から推薦された優秀な選手の中からセレクションで選考された20人でチームを編成し、春から県リーグ/神戸市社会人リーグ1部の強豪と数多くの強化試合を重ねたことで、全選手にチーム戦術が浸透し意識が統一され、かつどの選手が出てもチーム力が変わらない厚い選手層によりハイレベルなチームができ、全員が交替しながら疲労の蓄積を最小限に抑えることができたことが、“全国優勝”という最高の結果につながったと考えます。

来年は、さらに強化し、近畿地区優勝と第4回大会での連続優勝(V2)を目指して頑張ります。今回、全国優勝ができたのは、兵庫県サッカー協会関係者及び各都市協会関係者各位のご理解とご指導・ご協力によるものであり、選手一同を代表しお礼申し上げます。

大会後記：兵庫県シニア選抜主将 前田正司(神戸)